

「サイバーセキュリティシンポジウム道後2025」を開催

- 総務省四国総合通信局は、サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会（委員長：小林真也 愛媛大学大学院教授）と協働し、令和7年3月7日(金)・8日(土)の2日間、「サイバーセキュリティシンポジウム道後（通称：SEC道後）2025」を開催しました。
- 地域住民が安全に安心して暮らせるサイバー空間の確保と、地域でのセキュリティ対策の強化につなげるため、「サイバーセキュリティと事業継続～持続可能な成長に向けた戦略～」をテーマに、産学官の多彩な登壇者による講演・パネルディスカッションのほか、参加者同士の交流の場であるナイトセッションや意見交換会を実施しました。

【目的・経緯等】

サイバー空間における情報セキュリティの重要性について広く普及・啓発を図るとともに、地域におけるサイバーセキュリティ人材の育成を目的に、平成24年から愛媛県松山市において開催しており、毎年全国からセキュリティの専門家や関心の高い方々が集まります。

14回目となる今回は、愛媛大学 城北キャンパスで開催し、のべ約1,000名(2日間：現地・オンライン)を超える方々にご参加いただきました。

【プログラム】

総務省サイバーセキュリティ統括官の基調講演をはじめ、サイバーセキュリティ分野の第一線で活躍されている専門家・企業の方々による講演や、インシデント被害を最小に抑えるための組織の対応等について考えるパネルディスカッションのほか、参加者同士の連携と交流を深める意見交換会やナイトセッションを実施しました。

ナイトセッションでは、昨今関心の高いテーマ（サイバーセキュリティお助け隊／脅威インテリジェンスを用いたサイバー攻撃対策／サイバーセキュリティ業界の未来と果たすべき役割／現実のインシデントでどう対応したのか・せざるを得なかったのか）を取り上げ、熱心な議論が行われました。

また、シンポジウムの模様は、**四国内3箇所のサテライト会場**（鳴門教育大学、新居浜工業高等専門学校、弓削商船高等専門学校）において学生・教職員を対象にオンライン配信し、のべ約15名が視聴しました。

【主催】サイバーセキュリティシンポジウム道後 実行委員会

【共催】愛媛大学、愛媛県、松山市、総務省四国総合通信局、四国サイバーセキュリティネットワーク ほか
【後援・協力】サイバーセキュリティ戦略本部、経済産業省四国経済産業局、セキュリティ関連団体、テレコム関連団体、教育機関、研究機関、経済団体、等 約20企業・団体

【開催場所】愛媛県松山市（愛媛大学 城北キャンパスにおいて、ハイブリッド形式で開催）



<講演会場の様子>



<パネルディスカッション>



<ナイトセッション総括>



<協賛社 展示ブースの様子>



参加者の声（アンケートより）

- ・各分野における専門家のお話が聞けてとてもよかったです。
- ・SEC道後には何回か参加させていただいていますが、毎回期待を超える内容です。是非次回もお願いしたいですし、次は時間長めでトライしていただくと嬉しいです。
- ・企業のセキュリティ部門担当者向け、セキュリティ事業者向け色々あり全体通じて勉強になるものばかりでした。
- ・スタンプカードを持ってブースを回るイベントも普段だと立ち寄りやすい会社様のお話を聞く機会となり、意外とこちらのニーズをお伝えすると裏から情報が出てきたりと、とても充実した情報収集となりました。

【お問い合わせ先】四国総合通信局 サイバーセキュリティ室 089-936-5044